

たくさんの笑顔で地域をつつみます。

広報 せきあい

通巻3号
平成28年

秋

発行:社会医療法人 関愛会



新連載 松島ドクターのフォトエッセイ
しごと図鑑 / 私もせきあい / 地域を深掘る

地域包括ケアの拠点として新たな一歩

坂ノ市病院

[COVER]坂ノ市病院 医事課 房前琴音(左) 在宅栄養室 管理栄養士 工藤康子(右)

地域包括ケアの拠点として新たな一歩

坂ノ市病院



平成28年8月1日に「クリニック」から「病院」へと生まれ変わって、地域医療のさらなる充実と機能強化を目指す「坂ノ市病院」。今回は管院長をはじめ病院で勤務する4人の先生方に集まっていただき、これから取り組みたい医療や坂ノ市地域についての思いなどをお話いただきました。

今日は「社会医療法人 関愛会 坂ノ市病院」の4人の先生方にお集まりいただきました。平成28年8月に「坂ノ市クリニック」から新たな一歩を踏み出した坂ノ市病院についてのお話だけでなく、坂ノ市地域に対する先生方の思いなども伺っていきたいと思います。聞き手は私、坂ノ市地域包括支援センターの原口が務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

原口——まずは管院長より「坂ノ市病院」について簡単に紹介していただけますか？

地域包括ケアに取り組む

管——はい。前身の「坂ノ市クリニック」は平成25年の開設以来、在宅診療のバックベッドと急性期から在宅への繋ぎとしての役割で運営してきました。バックベッドとは、在宅医療で患者さんの病態が悪化したときに入院できる病床（ベッド）のことです。その機能をさらに充実させるべく病床の数を増やし、以前からある内科・外科・小児科・消化器内科・リハビリテーション科などに加えて、新たに呼吸器内科を開設し、小児科の訪問診療もはじめました。これによって、今まで以上に多面的に地域包括医療とケアに取り組める病院へと生まれ

変わりました。

原口——ありがとうございます。私たちから見ても「坂ノ市病院」は在宅をキーワードに医療に取り組まれているという印象が強いのですが、地域のほかの医療機関との連携についてはどのようにお考えでしょうか？

管——近隣の開業医の先生方との連携に関しては、入院治療の要請があれば積極的に受け入れさせていただいています。私たちの病院が坂ノ市地域のクリニックのバックベッドとして機能できれば、それだけ地域の



社会医療法人 関愛会 坂ノ市病院
(写真左から)長濱明日香医師 橋永さおり副院長 管聡院長 甲斐誠司医師

聞き手/坂ノ市地域包括支援センター センター長 原口和之



管院院長

人のメリットになりますからね。地域の人が大きなけがや病気をした場合、専門の病院での治療を経て、在宅に向けて療養が必要ならウチに転院していただいて、その後患者さんのかかりつけのクリニックへお返しする。回復までのそういう流れを地域全体で作れたらいいなと考えています。

原口——ありがとうございます。次に橋永副院長にお尋ねします。先生は「坂ノ市クリニック」の頃から坂ノ市地域で診療されていますが、あらためて今後取り組んでいきたいことなどございますか？

橋永——やっぱり、訪問診療の受け皿としての病院機能が重要なのかなと思います。私たちはクリニックの頃から、坂ノ市地域の在宅医療の拠点として活動を続けてきました。患者さんに病院に来てもらう外来だけでなく、在宅の患者さんのもとを医

師が訪問する診療こそ、地域医療の大きな要素ですからね。ですから、先生たちが安心して患者さんのもとへ診察に行けて、何かあった時には病院が即座に受け入れる。そんな在宅と病院がスムーズに連携できる環境を作ることが、私の仕事かなと思っています。

原口——ありがとうございます。では小児科を担当されている長濱先生はいかがでしょう？

長濱——私が取り組んでいきたいのは、重症心身障害児の方などの訪問診療ですね。前にいた病院でも専門外来として障害のあるお子さんを診ていましたが、外来でできることには限りがありました。私自身、その頃から訪問診療の必要性を痛感していたので、この病院に来て小児の訪問診療を実現できたことが、とてもうれしいですね。それに加えて小児心身症の専門外来もやっています。そ



長濱明日香医師

在宅と病院がスムーズに連携できる環境づくり



甲斐誠司医師

ういった専門外来や訪問診療を行うつつ、一般外来や保育園・学校医などの業務を通して、地域のお子さんの成長も手助けできたらなと思っています。

原口——ありがとうございます。甲斐先生は内科と呼吸器内科を担当されていますが、この2つはどう違うんでしょう？

甲斐——はい。呼吸器内科って一般の人には分かりにくいかもしれませんが、内科と重なる部分も大きいですよね。ですから、ちよつと咳（せき）が出るとか熱があるとかで、どこの科にかかったらいいのかわからない時でも、内科と呼吸器科をトータルで診ることができると特徴といえます。もし入院が必要な場合でも、ここの設備が整っていますからね。とにかく、新しく作られた呼吸器内科の特色を生かした診療で、今まで以上に地域の人に貢献できる

よう、がんばります。

原口——ありがとうございます。では4人の先生方に、坂ノ市地域の印象について伺いたのですが。

管——昔から住んでいる人も多くいらつしやるんですけど、最近は佐賀関など近隣の町から越してこられた人が多いのかなと思います。新たに家を建てられてですね。ですから子供さんがいる若い家族も多いでずし、それに合わせていろんな店も増えています。これから大きくなってゆくと新しい町ですね。

橋永——そうですね。私は「佐賀関病院」が、まだ町立病院だった頃に勤務していたことがあって、当時は坂ノ市に住んで佐賀関まで通っていたんです。もう15年くらい前かな。その頃と比べると、すごく開けたなという印象です。

長濱——学校も大規模校があつて、児童数も多いですね。地域の小児



橋永さおり副院長



乳幼児から高齢者まで、幅広い診療体制が充実している

科クリニックさんも何件ありますけど、それだけでは手が回らないという話も聞いています。子供さんが多いということは若い世帯が多いということ、地域にも活気がありますね。

甲斐——私も前に勤務していた「佐賀関病院」に比べたら、若い患者層が多いなと思いました。子供さんや、そのお父さんお母さん、さらに高齢の方までいますから、患者さんの年齢層に極端な偏りがないんですね。全年齢層がいるということは、やっぱり元気のある町なんだと思います。

橋永——便利で暮らしやすいですね。以前住んでいた頃は都町が遠くなつて寂しかったけど（笑）、今は子育てがしやすい町だなと思つています。

長濱——私も10年くらい前に坂ノ市で暮らしていましたが、当時と比べるとコンビニやドラッグストアなども増えて、ずいぶん便利になつたなあつて。

橋永——そうそう、ホントにいろんなお店ができましたよね。

甲斐——なんでもあるので、生活には全然困らないですね。それでいて町が混み合つてないというか、ゆったりとした雰囲気があります。


幅広い世代が暮らす“元気のある町”坂ノ市

管——食べ物でいえば、やっぱり阿蜂饅頭かな（一同笑）。それと素敵なお寺や神社があるのもいいですね。萬弘寺に八柱神社や日吉神社。私は坂ノ市に住んで10年になりましたが、わが家の地鎮祭や子供の七五三も、地元神社にお願ひしました。坂ノ市は地区の活動も盛んで、私も草刈り作業には必ず参加するんですよ。

一同——エ〜ッ！
管——そう毎回。月に一度、美化デーというのがありますが、どんなに二日酔いの日でも必ず参加してます（笑）。

一同——それはすごい。さすが院長先生ですね!!





社会医療法人 関愛会
坂ノ市病院
〒870-0307 大分市坂ノ市中央1-269
Tel. 097-574-7722
診療科：内科・小児科・消化器内科・呼吸器内科・リハビリテーション科
入院病床：20床
●在宅医療連携センター
●坂ノ市リハビリテーションセンターもみの木

もみの木
訪問リハオフィシャルブログ
日々の活動、スタッフの想いを綴っています。是非ご覧になってください。

もみの木 リハビリ





秋の江地区の様子。浦々ごとの伝統が継承されていくことを願わずにはいられない

団地育ちの筆者にとって盆行事の記憶はあまり楽しいものではない。田舎に行き、いとこたちに会えるほかは退屈で、普段付き合いない大人たちの中で居心地が悪かった。

5年ほど前、「佐賀関のお盆の行事はいいよ」と聞き、YouTubeで動画を探した。闇夜の中、漁火に照らされたやぐらが浮かびあがる。天高くそびえた竹に飾られた色とりどりの短冊。やぐらの周りを遺影を抱えて踊る人たち。その光景は美しく幻想的で、わたしの盆行事のイメージをくつがえした。あれからずっと気になっていたが今夏ようやく機会を得た。

浦々の盆

松島ドクター責任編集

秋の江地区。口説きに「高島一関アジ」と佐賀関のお宝を聞き取った。須川住太郎さん(93歳)の力強いお囃子が会場を盛り上げる。子どもたちも順番に太鼓をたたいている。会場の片隅には物故者の遺影が並び、人々が手を合わせている。踊りを教えるお母さんたち、見よう見まねで覚える子どもたち。浦々の文化を共有する大切な場にみえた。

小黒地区。日はどつがり暮れて暗闇になっていったが、漁火に照らされた会場は明るい。仮装した人、浴衣姿の女の子たち、せり車(大五郎車)を押しして踊りの輪にかけた老婦人。生歌の



小黒地区の様子。伝統の重さと奇跡を感じ、そっと手を合わせた

口説きに負けないくらい、集まった人々も声を出して歌いながら踊っている。鮮やかなステップを踏む「高島」の女性の姿が印象的だった。

浦々ごとに異なる口説き、リズム、テンポの盆踊り。年に一度、佐賀関の町のおちこちで繰り広げられる光景は至宝だ。記録されることなく、連続と続いていることが奇跡に思える。亡き人に思いをはせる日、心の中に迎える日。お盆の夜にわたしも静かに手を合わせた。



佐賀関病院
松島 文子 医師

日本麻酔科学会、日本プライマリ・ケア連合学会所属。特技は絶対音感。最近では奄美大島の三味線の練習に励む

「関百景」《秋》



朝の市場 森洋一氏

漁師町を題材にした作品で知られる森洋一氏(別府市出身)の水彩画作品。OPAMには鶴見漁港を描いた同名の作品が収蔵されている。佐賀関漁協のト口箱、女性たちのたくましさや美しさ(佐賀関病院口ビー展示)。

関のキャラクター(せきあいキャラクター)



フレッシュスーパーマリン
関のいなか寿司

店内BGMは、いつも1980年代のJポップ。買い物中、つい歌いそうに...

キラキラと光る青魚に散りばめられたすりごまの滋味。地物のイワシやアジ、サバ、時にはサンマも目見えする。漁師町の家庭料理を再現したとされる「いなか寿司」は、肉厚な魚だけでなく、すし飯もおいしい。1つ140円だが、月曜日は1つ110円とか。

さがのせき dc おやつ探し



上:様々な医療スタッフがチームを組んで患者様の栄養管理を行っています。下左:栄養サポートチームの一員としてやりがいを感じています。下右:医療現場では「食事と栄養」が重要視されるようになりました

あなたが意外と知らない世界

しごと図鑑 vol.1

管理栄養士

佐賀関病院 栄養管理室
吉田 香

管 理栄養士の仕事は、大きく分けて栄養管理と給食管理があり、私はそのうちの栄養管理に携わっています。

中でも栄養サポートチームの一員として、食事の食べ具合や検査データ、体重変化などの患者様の状態の定期的なチェックから、栄養バランスに過不足がある方に対して他職種の方々と協力しながら栄養を摂る方法を考え、入院中の栄養不良を防ぐようにしています。

栄養は、口からや栄養チューブから、点滴からと補う方法は人によって様々です。食事では食欲が落ちている方に対してご本人やご家族からお話を

伺い、量や食形態を調整したり、食べれそうな物、馴染みのある物を出すなどの食べれるきつかけ作りを考えます。栄養剤では不足を満たせるように栄養剤の種類や量を調整しています。

患者様一人一人に合った栄養補充の方法を考えるのは難しいですが、「食べれるようになったよ」という言葉や、元氣になって退院される姿を見ることが日々の励みになっています。

Profile

休日は美味しいものを食べに出かけるのが楽しみなグルメ女子。最近ハマってるのは辛いものを食べること。仕事もプライベートもアクティブにこなしています!

せきあい女子

素朴なギモンを聞いてみた。

地域を深掘る

〜掘目〜

「関の鯛つり唄」は、その昔一本釣りで釣り上げたタイを生きたまま大阪の市場で売り、大阪を豪遊した佐賀関の漁師と遊女とのほかない恋物語を唄い込んだ、元禄時代から唄い継がれてきた民謡です。

昭和41年の一巡目大分国体の時にこの唄に振り付けてマスメディアとして公開されたのが「関の鯛つりおどり大会」の由来です。例年、地元企業や団体などから総勢約1000名の方が参加する盛大なお祭りなんです。

先日、「鯛つりおどり大会」に出場した私(右上の写真)ですが、入職するまで「関の鯛つりおどり」のことは知りませんでした。これから佐賀関のことを勉強します!

A

元禄時代から唄い継がれた民謡「関の鯛つり唄」の踊りを参加者全員で披露するお祭りです。



有限会社 古山乳業
代表取締役社長 古山 信介さん
大分商工会議所佐賀関支所長、さらに関の鯛つりおどり大会実行委員長でもあるエネルギーシニアの方です

Q

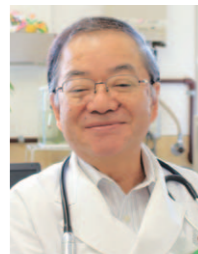
「関の鯛つりおどり大会」ってどんなお祭りなんですか?



法人事務局長
経理課 牧和夏(まさあえか)
法人の業務全般を行う法人事務局長の経理課に所属



さよわかわの風



清川診療所 坪山 明寛 医師

内科・血液内科。モットーは「一日一笑」。「医道人道」。俳句、写真撮影、童話創作、囲碁、植物いじりを愉しむ多趣味人

朝窓を開けた。風がすくっと入って来た。涼しい！猛暑のすき間をぬって秋の精は近づいている、確かに。

新涼や窓開けミルク飲み干せり 明寛

カルテ閉じ耳傾ける虫の声 明寛

とはいえ、まだまだ日中の暑さはひどい。診療の場では「体調はどうですか？水分は取っていますか？部屋の温度はどうしていますか？」の声掛けが欠かせない。

今年「草取り」を話題にすることが多い。病みながらも草取りが夏の大事な仕事だということ、酷暑の今年、再認識した。庭の、畦の、畑の、栗林の、土手の、家の前の道の……。あらゆる場所の草との戦いだ。蜂やアブやダニや蚊に刺されながらも、草取りは大事なのだ。それも毎日しないといけないのだ。なぜか？その理由の第一は、土地が広いからだ。私の家の庭を基準に考えると、「そんなに毎

日しくなくても……」となるが、清川の方々の私有地はとにかく広い。先祖伝来の田んぼや畑だけでなく、庭だって広いのだ。庭の草取りがひと回り済み、立ち上がって後ろを振り向くと、もう最初に草取りした所には生えているのだ。草が、しかもびっしりと。なにしろ相手は暑さにも負けない雑草だ。

雑草といえば、昭和天皇にどうして庭を刈り取ったのかね」と聞かれた入江侍従長が、「雑草が生い茂っていたので……」と答えたら、「雑草ということはない。どんな植物でもみんな名前があつてそれぞれ自分の好きな場所で生を営んでいる。人間の一方的な考え方で、これを雑草と決めつけてしまうのはいけない」「宮中侍従物語」入江相政著と言われたそうである。雑草にも生きる権利があるのは分かる、でも吹上御所と違い、畑で雑草を放置すれば作物の育ちに影響する。これが草取りが必須である第二の理由だ。秋の成熟に

向けて、作物は暑い時期に成長する。そのための栄養分や水分が奪われないうちに、草取りは必要だ。私もそのくらいは分かるので、「炎天下は避けてください。帽子を被って、幼稚園児のような軍隊帽がいいんじゃないですか。水分を取ってください」などと繰り返すのだった。

草取りが必要である理由に、もう一つ付け加えなければならぬ。炎暑の日だった。診察の際、あるお婆ちゃんに「毎日暑いですね、何をしていますか？」と尋ねた。すると返事は「庭の草取り」だった。「大変ですけど涼しい時にしてくださいよ」と告げた私は、「はい」という返事を予想したが、「昼間していますよ、皆が帰ってくる頃まで」と返ってきた。「熱中症になるよ、どうして昼間にするんかな」と、やや呆れて聞いた私に、お婆ちゃんが答えた理由は、想像だにできなかった、身につまされるものだった。「子供たちに世話になってるので、昼間も遊んでいるのでは

なく、草取りをして働いていることを見せたのです」。

私は咄嗟に言葉が出ず、「さうでしたか。そういう気持ちで草取りをしているんですか、偉いですね。でもこの暑さですから、暑い時間帯は避けて水分をしっかり取ってくださいよ」としか言えなかった。しかし、この方のきっぱりとした口調からは、「辛い」とか「苦しい」という悲壮感ではなく、むしろ世話になつたらお返しをするのが当たり前という返報性を尊重する、彼女の生き方の矜持が感じられた。この市井の民に比べ、世話になつている上司を上から目線で「本当につまらない男」と揶揄する国会議員の発言には、それぞれの人の持つ違い(個性)を尊重することのできない危うさと傲慢さが垣間見え、呆れてしまった。

「だが草取り、されど草取り」。草取りにも生きる覚悟を見た、診察のひとつこまだった。

Q 秋の体調管理で気を付けたいことはなんですか？

A 体調管理の注意点を5つ教えます！



王子クリニック 織田 奈穂美 院長
一般内科、消化器内科。日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本体育協会公認スポーツドクター

①食中毒が増える
今年夏はすくく暑くて、体力を消耗された方も多いと思います。日々過ごしやすくなってきましたが、この時期に気を付けたいことを考えてみましょう。

②気分が落ち込む
日照時間が短くなると、脳の活動性が弱まり、気分が落ち込みやすくなるのが知られています。1日最低15分、入浴時など十分リラクゼーションして過ごす時間を作りましょう。ご家族や友人と、楽しく過ごすのもいいでしょう。

③アレルギーが起りやすくなる
イネ科の植物や、大気中の物質、また気候の変動により、気道に負担が

教えて! ドクター

④体重が増える
動くことがおっくうになり、濃い味をおいしいと思うようになる時期です。カロリーオーバーにならないように工夫して、秋の味覚を楽しみましょう。余暇の時間は、活動的に過ごしましょう。

⑤冬に向けて準備する
風邪やインフルエンザのシーズンが近づいています。うがいや手洗いなど、予防を習慣づけましょう。インフルエンザ、肺炎球菌の予防接種の計画をお忘れなく。

私が紹介します！

佐賀県診療所 歯科衛生士
あなん ちはる
阿南 千春

大切なのはこれからも地域と寄り添い続けること...

仕事に家庭に全力投球！2児のママ！



関愛会関連施設をリレーで紹介

私もせきあい vol.1

社会医療法人 関愛会 佐賀県診療所

大分市大字佐賀関750-91 097-575-1173

平成17年12月に佐賀関病院が現在地に新築移転するにあわせ開院。内科、眼科、耳鼻科のほか歯科も併設し、地域密着の医療を提供しています



左:大きなガラスが特徴の外観 右上:優しく温かな光が射す待合室 右下:いつも笑顔を大切にしています



「佐賀関診療所は大きなガラス張りの建物の特徴です。受付は広く開放的な空間で、大きなガラスのおかげで日の光が降り注ぎ、温かな雰囲気を出しています。お見えになる患者さまも顔馴染みの方が多く、施設全体がアットホームな診療所です。併設する歯科では、歯周病などが全身の病気に深く影響を及ぼすことから口腔ケアにも力を入れており、医学と歯学が連携することで治療と予防医療の向上につながるとされる「医歯連携」に取り組んでいます。

院内だけにとまらず、引き続き訪問診療も積極的に行い、地域医療の充実と地域包括ケアの推進を地域の方々とともに進めていきたいと思っています。

地域包括ケアを目指して 関愛会運営施設

社会医療法人 関愛会

〒879-2201 大分県大分市大字佐賀関750-88
Tel.097-575-1172



機能強化型在宅療養支援病院 佐賀関病院

〒879-2201 大分市大字佐賀関750-88
Tel.097-575-1172

診療科:内科・循環器科・呼吸器科・消化器科・小児科・整形外科・外科・
肛門科・耳鼻咽喉科・眼科・リハビリテーション科
入院病床:89床(一般病棟36床、回復期リハビリテーション病棟40床、
地域包括ケア病棟13床)

- 大分県へき地医療拠点病院
- 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設認定病院
- 大分DMAT指定医療機関
- 日本医療機能評価機構認定病院



機能強化型在宅療養支援診療所 佐賀関診療所

〒879-2201 大分市大字佐賀関750-91
Tel.097-575-1173
診療科:内科・眼科・耳鼻科・歯科



機能強化型在宅療養支援診療所 こうざきクリニック

〒879-2111 大分市大字本神崎251-8
Tel.097-576-1782
診療科:内科
●こうざきデイケアリハビリテーションセンターもみの木
●こうざきクリニック訪問リハビリテーション事業所



機能強化型在宅療養支援診療所 王子クリニック

〒870-0009 大分市王子町1-11
Tel.097-536-6633
診療科:内科・消化器内科・心療内科



在宅療養支援診療所 三重東クリニック

〒879-7104 豊後大野市三重町小坂4109-61
Tel.0974-22-6333
診療科:内科・小児科



高齢者介護施設 ひまわり

〒879-2201 大分市大字佐賀関880-1
Tel.097-524-4141
●デイサービスひまわり
●ヘルパーステーションひまわり
●ケアセンターひまわり(居宅介護支援事業所)



介護老人保健施設 せきの郷

〒879-2203 大分市大字一尺屋2357
Tel.097-575-8800
●短期入所生活介護せきの郷



在宅療養支援診療所 一尺屋診療所

〒879-2203 大分市大字一尺屋2368-1
Tel.097-575-8028
診療科:内科



在宅療養支援病院 坂ノ市病院

〒870-0307 大分市坂ノ市中央1-269
Tel.097-574-7722
診療科:内科・小児科・消化器内科・呼吸器内科・リハビリ
テーション科 入院病床:20床
●在宅医療連携センター
●坂ノ市リハビリテーションセンターもみの木



在宅療養支援診療所 津守クリニック

〒870-0945 大分市津守496-37
Tel.097-578-7762
診療科:内科



在宅療養支援診療所 清川診療所

〒879-6903 豊後大野市清川町砂田1877-3
Tel.0974-35-3561
診療科:内科
●きよかわリハビリテーションセンターもみの木
●きよかわ介護サポートセンター三つ葉



有料老人ホーム 海風

〒879-2201 大分市大字佐賀関792-1
Tel.097-575-4800
●デイサービス海風



ナーシングホーム 輝 訪問看護ステーション いろは

〒879-2111 大分市大字本神崎256-4
Tel.097-578-8133

佐賀関病院・佐賀関診療所の 外来診療日が変更されます

平成28年10月1日より、外来診療日が下記のように変更になります。土・日曜日、祝日を休診とさせていただき、木曜日の午後の外来診療を開始します。ただし、急患は従来通り24時間受け付けております。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	○	○	○	○	○	休	休
13:30~17:00	○	○	○	○	○	診	診

休診日:土・日曜日、祝日

佐賀関病院に 透析・リハビリ棟が完成

近年、生活習慣病やメタボリックシンドロームとの関連の深い慢性腎臓病(CKD)が注目されています。また、今後はリハビリテーションの重要性と必要性も高まっていくと思われます。このような背景と地域ニーズに応えるべく、佐賀関病院に「透析・リハビリ棟」が完成しました。関愛会は今後も地域の皆様の生活を支える医療やケアを進めていきます。



増永理事長が取材を受けました

大銀経済経営研究所の発行する月刊誌「おおいの経済と経営」に増永理事長のインタビュー記事が掲載されました。機会がございましたら、ぜひご一読ください。



関愛会の80名が参加し 地域包括ケア研修会開催

去る6月25日、坂ノ市公民館で関愛会の「地域包括ケア研修会(S-Link)」が開催されました。この研修会は、関愛会の各機関が地域のために有機的に連携する起点となるべく、今後年に数回開催される予定です。



地域を守り支えてゆくために 第18回 関愛会学術集会

8月27日、大分市のコンパルホールで『「現場実践と教育」～地域包括ケア時代を担う人材育成について』をテーマに関愛会学術集会が開催されました。会場に200人を集めた集会は、関愛会・増永義則理事長の基調講演を皮切りに、大分大学福祉健康科学部副学部長・片岡晶志先生による特別講演などがありました。この学術集会をはじめ、関愛会はさまざまな取り組みで地域を守り支えていく現場実践者の育成を行っています。



▲増永理事長



▲大分大学 片岡教授

地域の恒例行事に参加しました

9月に行われた「関の鯛つりおどり大会」に、今年も職員約100名が参加しました。また、同時開催の「大漁おし初め競技」には女性医師と管理栄養士の合計4名が出場し、大声援の中で奮闘しました。



ちょっと知りたい、ふたりの関係。

ナースのよこがお

第1回

立派な看護師に
レベルアップしてください。
身だしなみは、
しっかり整えてね(笑)。

少しずつではありますが、
自立できるように頑張ります。
今後ともよろしくお願いします!

先輩

新人

実践あるのみの体育会系だけど、
「分かりやすい指導」を心がけています。
これからも仲間として
一緒に成長していけるといいなって、
そう思っています。ね!

佐賀関病院

姫野 未央 看護師
(平成17年9月入職)
先輩を一言で例えるなら?
⇒ラーメン大好き小池くん。
ポケモンならモンジャラ

田ノ上 辰吾 看護師
(平成28年4月入職)
先輩を一言で例えるなら?
⇒お姉さん